

# JMU「商船建造撤退」に全力対応 ～市内での雇用確保へ説明会など実施～

舞鶴商工会議所では、「JMU舞鶴事業所の商船建造撤退」を最重要課題として全力で取り組んでいます。4月も雇用支援対策をはじめ、特別委員会の開催や関係機関との精力的な調整などに努めました。

## 聞き取り調査の結果

舞鶴商工会議所では、JMUへの支援内容について詳細を把握するため、去る3月25日～4月1日に関係会員事業所に対して聞き取り調査を行いました。その結果は、「雇用支援」が81事業所で、雇用可能人員は各社の採用予定人数を合算した結果、180人～202人でした。また「業務提携」が8事業所、「資金協力」が7事業所、「その他支援」が8事業所となりました。

なお、調査結果は舞鶴商工会議所のホームページに掲載しています。

## 4月15日 2回目の特別委員会

第2回のJMU関係対策特別委員会（委員長：今安副会頭）を4月15日に舞鶴商工会議所で開催しました。小西会頭や委員10人が出席。

会議では、JMUの状況や情報の共有、今後の対策などを協議。「JMU従業員との面談機会」の設定をはじめ、引き続き関係機関との連携強化や適時適確な対応に全力を尽くすことを確認しました。

## JMU従業員と会員が面談

ジャパンマリンユナイテッド（JMU）では、舞鶴事業所で行っている商船建造を来年の第1四半期（6月頃）で終える予定になっています。既に「造船からの撤退」の方針に沿って、従業員のうち、設計部門の約50人については配置転換などの内示を完了。これらの方々は、この7月から来年6月にかけて、市外を含め「新しい職場での仕事」が予定されています。

このような中、舞鶴商工会議所では、「舞鶴への就職希望者は一人たりとも市外に出さない」—の基本方針のもと、ハローワーク、舞鶴市、京都府の協力を得て、4月25日と26日舞鶴商工会議所で、JMU従業員と会員事業所との面談会を開催しました。

面談会には、JMUの従業員延べ22人と、舞鶴商工会議所の13社が参加。市内就職を目指すJMUの方々にとって、貴重な機会となりました。

なお、JMUでは造船事業の縮小とともに、関係企業も含め余剰人員が生じることから、今回のような面談機会を引き続き開催する予定です。

## 市、観光協会と連携、“コロナ対策” 先払い商品券・テイクアウト支援等開始へ

“Buy Local maizuru”  
キャンペーン

舞鶴商工会議所では、舞鶴市、舞鶴観光協会とともに、市内事業者を応援する「コロナにまけるな!! Buy Local maizuru」（バイ・ローカル・まいづる）キャンペーンを実施することになりました。

新しく、現在「新型コロナ」の影響を受けている事業者や店舗、生産者などを応援するため、「寄付」、「先払い商品券購入」を行なえるようにする、クラウドファンディング型支援の仕組みを構築します。この取り組みは、近く支給される予定の「特別定額給付金（国から10万円）」等のお金を市内に循環させることを目的

とするもので、現在、支援を受けたい事業者を募集しています。

また、既にテイクアウトや通販等に取り組みされている事業者・生産者を紹介する特設ホームページ（<https://buylocal-maizuru.online>）を開設。地場産品、サービスなどを発信し、市民に購入等による支援を呼びかけようとするものです。

詳しくは、「コロナに負けるな!! Buy Local maizuru キャンペーン協議会事務局」舞鶴市産業創造・雇用促進課（Tel 66-1021）へどうぞ。